

学校だより



かきた

児童数 440名(1月8日現在)

＜学校教育目標＞

「自分のよさ(知性・感性)を發揮し、心豊かにたくましく生きる子ども」を育成する
かしこく きよく たくましく

気持ちを込めるとは？

校長 熊倉 秀幸

令和8年、午年がスタートしました。かすみ北小の子供たち、保護者の皆様、地域の皆様も、よい年末年始を過ごされて、新しい年の始まりを迎えたことだと思います。皆様にとって令和8年がよい年となることを願いつつ、本校は『笑顔あふれるかすみ北』を実現し、子供たちも保護者も、地域の方も教職員も、笑顔あふれる発信地となるよう、日々の教育活動を充実してまいります。今年も変わらぬご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

毎年お正月の恒例行事となっている東京箱根間往復大学駅伝競走を見た方も多いと思います。今年は青山学院大学が、2回目の3連覇と大会新記録での優勝という素晴らしい記録が出た大会でした。優勝した青山学院大学の原 晋(はら すすむ)監督がインタビューの中で語っていた言葉が、とても印象に残りましたので、新年の始まりに伝えさせてください。

「気持ちを込めて頑張ってたら、必ず成長する。」

この言葉を聞いた時、私はハッとしました。成功はしないかもしれないのですが、必ず成長はすると言っているのです。3連覇を2回も実現させている原監督の言葉です。きっと本当なのだろうと思いました。大切なことは気持ちを込めてことだと改めて思いました。気持ちって何でしょう？ それは、自分がどうしたいか？という心の決意だと思いました。なんのために頑張るか。優勝したい？勝ちたい？負けたくない？気持ちは色々です。その気持ちを自分の強い決意としてもって、頑張りぬくことで必ず成長し、努力は報われるのです。成長したことで、時には結果もついてきます。でも結果は本当の努力の証ではないということを改めて教えてくれた、実感のこもったすばらしい言葉でした。

3学期はかきた祭り、持久走大会、卒業式など、今の学年の総まとめをして、進級し新しい学年に向かっていく行事がいくつもあります。今年度も残り3ヶ月、それぞれの学年のゴールに向けて頑張って欲しいです。勉強も運動もそしてクラスの仲間とも、気持ちを込めて頑張って、成長して次のステージに進んでいきましょう。

そして、学校のためにリーダーとして頑張っててくれた6年生のゴールも近づいてきました。かすみ北小の伝統を5年生へ、禪(たすき)のようにつないで欲しいと思います。

「気持ちを込めて頑張ってたら、必ず成長する。」学校にかかるすべての人と一緒に成長できるように、教職員一同力を尽くして頑張っていきます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

★気持ちを込めて頑張ってたら、必ず成長する。 [原 晋]